

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	地域食育推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	近年、食を大切にする意識が希薄になり、健全な食生活が失われつつあることから、個人だけでなく地域や社会をあげて食育に取り組み、健全な食生活を実践する人間を育てることが必要となっているため、食育の推進に取り組むもの。 ・地域で健康づくりや食育推進の活動をする高松市食生活改善推進協議会の育成、支援 ・「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等				
2年度概要	市民の野菜摂取量増加に向けた取組の実施 健全な食生活の実践を促すため、食育推進事業の実施 高松市食生活改善推進協議会の支援・育成 「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「食育」への関心度を高め、地域や社会をあげて食育に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
伝達講習会開催回数	回	152	157	158	170	170

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
食育に関心をもつ人の割合	%	目標値	90	90	90	90	90
		実績値	82.4	83.5	84.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標としている90%は達成できなかったが、昨年度より増加している。		(目標達成度)					(達成度) 94.0%
							32点
伝達講習会参加者数	人	目標値	2,900	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績値	2,302	2,502	2,516		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標の84%であるが、昨年度より増加している。		(目標達成度)					(達成度) 83.9%
							29点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	29,888	29,631	29,519	29,489
（事業費）	[千円]	2,575	2,408	2,202	2,172
（職員人件費）	[千円]	27,313	27,223	27,317	27,317

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
地域食育推進事業について、市民の野菜摂取量の増加や朝食欠食率の減少を目指し、食育の推進を図った。食育の関心度、伝達講習会の参加者数ともに増加しているが、目標としていた数字を達成することはできていない。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
目標値の達成に向け、より一層の啓発・周知等、効果的かつ広域的な取組を実施していく。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	自殺対策推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

自殺者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準にあるため、自殺予防対策として、自殺の背景や原因の多くを占める健康問題、特にうつ病の理解のため、自殺予防の講演会などの開催や自殺予防についてリーフレットを配布するなど広く市民に啓発を行う。また、市内連絡会の開催や職員研修の実施及び相談業務に従事する保健師等の人材育成を図るため、研修会を実施し、相談技術のスキルアップを図る。ひきこもり対策を推進するため、ひきこもり状態の方及び家族等の福祉の増進を図ることを目的にひきこもりサポーター派遣事業を実施する。

2年度概要
 ・若者支援事業
 ・自殺予防相談支援事業
 ・自殺対策職員養成研修（市内連絡会、相談従事者研修、職員研修会）
 ・うつ病家族教室
 ・地域・職域啓発事業

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	------	----------	----	---------	-------------------


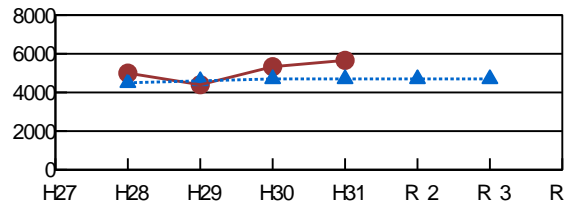

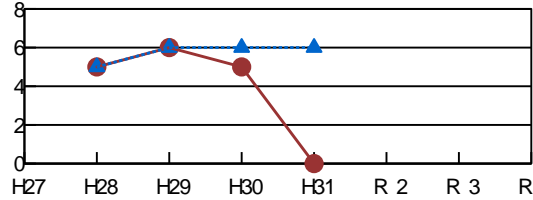
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の心の健康や自殺についての関心を高め、心の不調に気づき、ゲートキーパーの役割が担える人を増やす。また、生活習慣と抑うつ度の関係について、特に関係の深い休養やアルコールなどについて啓発を行う。自殺の増加を防ぐ。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
啓発活動の実施回数	回	133	230	138	150	150
ひきこもりサポーター派遣回数	回	30	26	0		30

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
健康教育の参加者数	人	目標値	4,600	4,700	4,700	4,700	4,700
		実績値	4,400	5,332	5,660		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地区担当保健師があらゆる機会を捉え、こころの健康・休養・睡眠・飲酒及びゲートキーパーについての健康教育を行った結果、目標を達成できており、一定の効果があつたと考える。 							(達成度) 120.4% 35点
支援人数	人	目標値	6	6	6		10
		実績値	6	5	0		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ひきこもり家族会であるNPO法人KHJ香川県オリーブの会やひきこもり地域支援センターアンダンテと連携を図って取り組んだが、対象となるひきこもり状態のケースのうち、サポーター派遣につながらず実績としての計上なし。 							(達成度) 0.0% 0点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	18,306	18,533	17,954	18,507
（事業費）	[円]	4,649	4,921	4,296	4,849
（職員人件費）	[円]	13,657	13,612	13,658	13,658

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

「高松市自殺対策計画」に基づき、自殺対策関連事業を実施するなかで、それぞれの事業における方向性を検討するとともに、ひきこもり関連事業においては、スキームの構築に向けた取組が課題となる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

「高松市自殺対策計画」に基づき、高松市全体で自殺対策を推進していく。保健センターでは、ゲートキーパー・睡眠・アルコールについての啓発や若年層への啓発を重点的に行う。また、ひきこもりに関しても、相談からサポーター派遣に繋げていく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	地域保健推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 地区組織の高松市保健委員会連絡協議会に対し、運営助成を行うなど、密接に連携を図りながら、地域に密着したきめ細やかな保健活動を推進する。「高松市民健康の日」に健康都市推進ビジョンの啓発を行い、健康づくりの意識啓発を行う。また、市民献血の推進と献血思想の普及啓発を行う。また、地域及び企業等に健康運動指導士等を派遣して運動教室を開催する。

2年度概要
 保健委員会連絡協議会に対し補助金を交付し、研修会・ブロック会の開催、保健委員会だよりを発行し、健康づくりを主体的に取り組んでいくよう支援する。健康都市推進のため、組織を通じて健康づくりを支援する。また、地域及び企業等に健康運動指導士等を派遣して運動教室を開催する。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


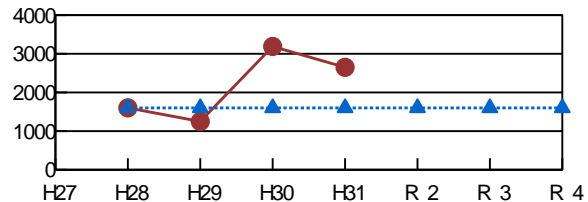

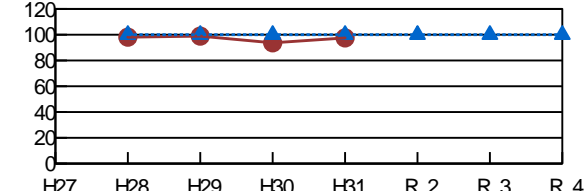
【事業の目的】

対象（何を）	市内の地区保健委員
意図（どのような状態にしたいか）	地域保健組織の活性化を図り、地域での主体的な健康づくりを推進する。 市民に献血思想を普及する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
研修会・ブロック会開催回数	回	310	337	288	320	320

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
講演会等参加者数	人	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績値	1,250	3,189	2,650		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 講演会等の参加者数は前年度より減少したものの、地域・職域運動教室の実施により目標以上の参加者があった。 							(達成度) 165.6% 35点
講演会等参加者満足度	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	98.9	93.7	97.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 研修会参加者の満足度は、平均すると97.5%で平均して高い満足度を得ることができた。 							(達成度) 97.5% 34点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,640	8,222	8,318	7,719
（事業費）	[円]	2,570	2,172	2,248	1,649
（職員人件費）	[円]	6,070	6,050	6,070	6,070

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域及び企業・事業所等職域に対して健康運動指導士を派遣した運動教室を実施し、1549人の参加があった。また、運動継続を促すため、2月に「健康づくりウォーキング」を実施し、好評を得た。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

保健委員会組織に対して、地域で、より主体的な事業展開ができるように働きかけていく。また、地域や企業等に健康運動指導士等を派遣し、運動教室を開催することにより、楽しく運動するきっかけを作り健康づくりを推進していく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	保健活動事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民の健康づくりのため、保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。		
2年度概要	保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	生涯を通じた市民の主体的な健康づくりを促す 健康寿命の延伸

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
保健師活動時間	時間	115,695	105,029	99,441	103,000	103,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
参加者の満足度	参加者の満足度	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.3	93.1	99.3		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	保健事業の参加者の満足度は、100%に近く満足度は高い。今後も市民のニーズを踏まえて実施内容を検討し、事業を実施していきたい。 (目標達成度)							(達成度) 99.3%
		34点						
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度(決算)	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(予算)
トータルコスト	[円]	174,932	170,669	177,230	160,459
(事業費)	[円]	33,055	29,260	35,334	18,563
(職員人件費)	[円]	141,877	141,409	141,896	141,896

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

保健師の活動時間の83.5%は家庭訪問及び健康相談等の現場業務であった。年度内において、保健師として稼働できる人員に増減があり(産休・育休等のため)、代替保健師の確保が難しい現状もある。サービス低下にならない様、状況に応じた対応が必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域コミュニティ協議会及び地区保健委員会和協働して事業を実施し、より効果的な活動体制を検討する必要がある。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	精神保健福祉普及啓発・相談事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ストレスの多い現代に、こころの病や治療などについて、こころの健康の正しい知識と理解、対応が求められているため、広く市民に啓発を行うとともに相談事業を実施する。		
2年度概要	こころの健康についての啓発として、「こころの健康セミナー」（統合失調症・ネット依存・思春期・うつ病・社会不安障害・発達障害）、「アルコールセミナー」等を開催し、家族教室として、「統合失調症家族教室」を開催する。また、こころの病やアルコール・薬物、ひきこもり等の健康相談に電話及び来所、家庭訪問で応じる。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対して、心の健康についての正しい知識や理解、対応を学んでもらうために啓発事業を実施する。家族教室として、統合失調症の方を持つ家族の方々が正しい知識と対応を学ぶために実施する。こころの健康相談を実施し、相談者の支援を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
啓発事業・家族教室の開催回数	回	24	24	25	24	24

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	啓発事業・家族教室の参加者数	人	目標値	470	510	510	510	510
			実績値	690	590	505		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 開催回数は維持でき、参加者数については目標を達成できた。 (目標達成度)						(達成度)	99.0%
								34点
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	25,822	24,807	25,802	26,164
（事業費）	[円]	3,061	2,121	3,038	3,400
（職員人件費）	[円]	22,761	22,686	22,764	22,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

こころの健康セミナーでは、各テーマに関心を持って市民の方が参加できていた。こころの健康相談については、個別の丁寧な関りができおり今後も継続していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

こころの健康セミナーの内容に、ネット依存等、市民の関心が高いと思われる内容を追加するとともに、相談の多い発達障害への対応も引き続き実施する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	精神障害者社会復帰支援事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

地域で生活している精神障害者は、偏見や病状のため孤立しやすく、社会復帰施設の整備も十分でないため、安心して暮らすことが難しい現状がある。このため、デイケアや当事者のための生活スキルアップセミナーにより、社会参加を促し、病気のつきあい方などを学び、再発を防止、安心して暮らせるスキルを身につけるためのグループ活動を実施する。また、障害者を支えている家族が活発に活動することで、作業所などの社会資源の開発や病気の再発防止に繋がるため、家族会の運営補助を行う。

2年度概要
 デイケア及び当事者のための生活スキルアップセミナーを実施することにより、精神障害者の自立を促進する。また、精神障害者家族会に対して、事業の補助を行い、支援する。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


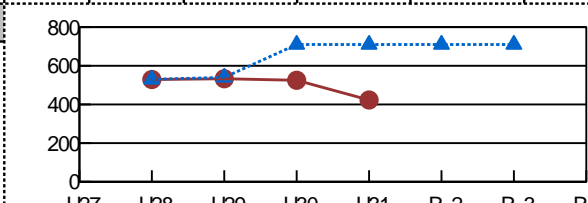
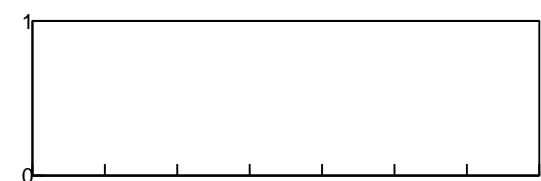
【事業の目的】

対象(何を)	在宅の精神障害者で自立支援医療の受給者
意図(どのような状態にしたいか)	地域で生活する精神障害者が、デイケアなどに参加することで地域で孤立せず、心の安定を図り、生活の幅をひろげ社会参加を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
デイケア実施回数	回	62	60	53	72	72

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	デイケア参加者延べ数	人	目標値	540	710	710	710	710
			実績値	533	525	423		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値が高く、達成は難しい状況である。目標達成に向け今後の取組の検討と事業の充実を図りたい。 							(達成度) 59.6% 20点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,606	7,762	5,995	8,142
(事業費)	[円]	3,054	3,225	1,442	3,589
(職員人件費)	[円]	4,552	4,537	4,553	4,553

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和2年3月に「高松市デイケア事業実施要綱」を制定。デイケア参加者の固定化が課題。新型コロナウイルス感染症の影響で年度末の事業が中止となったため、目標値の参加延べ人数を大幅に下回った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

デイケアは、当事者の社会参加促進のため、毎回の参加を促し、様々なプログラムを体験できるよう働きかける。またプログラム内容には参加者の希望や意見により、疾患についての講義や利用可能な施設の見学と交流会を行う。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	難病患者地域支援ネットワーク事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	病気の原因が不明で治療法が確立していない難病患者やその家族に対して、関係機関との連携を図り、様々なニーズに応じた相談・支援を行う事で、患者・家族の生活の質の向上・精神的負担軽減を図る。		
2年度概要	訪問依頼のある難病患者への保健師・医療機関専門職の個別相談事業 難病医療相談会・交流会の開催 難病患者を支える専門職の研修会の開催		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


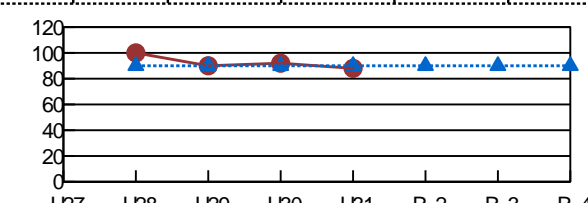
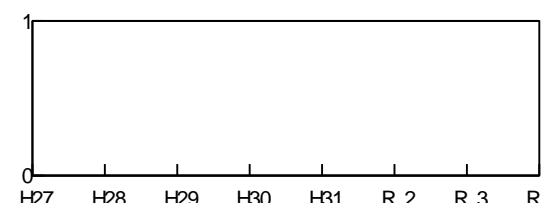
【事業の目的】

対象(何を)	難病患者とその家族 難病患者関係機関
意図(どのような状態にしたいか)	適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上を図るとともに、地域の医療機関等の連携により生活の場を整備する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
難病訪問相談指導延べ回数	回	799	656	629	820	820
難病講演会・相談会・交流会開催回数	回	4	4	4	6	6

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
事業参加者満足度	%	目標値	90	90	90	90	90
		実績値	90	92	88		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 難病患者及び家族から希望の多かった「多発性硬化症・視神経脊髄について」及び「こころのケア」のテーマで難病相談会・講演会・交流会の3事業を実施し、アンケートの結果、参加者の満足度は88%だった。 	(目標達成度)		(達成度) 97.8%				
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	8,537	8,462	8,502	8,549
(事業費)	[千円]	191	144	155	202
(職員人件費)	[千円]	8,346	8,318	8,347	8,347

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

難病患者の支援については、患者及び家族の希望や医療機関からの連絡により対応し、関係機関が連携して必要なサービス利用などにつなげている。困難事例については、事例検討を開催して関係機関と連携強化を図り、支援につなげた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

難病患者及び家族のニーズを把握し、訪問相談を行うとともに、講演会や相談会、交流会を開催する。また、在宅患者を支える保健師等支援者の研修会を開催する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	8020（歯科保健）推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的とした8020運動推進の一環として、妊娠期～乳幼児期～成人期～老年期を通じ、それぞれのライフステージに応じた歯科保健事業を実施する。		
2年度概要	妊婦および成人歯科健診を市医師会等と委託契約し、実施する。妊婦歯科健康診査受診票は妊娠届出時に交付する。また、歯の健康について啓発をする。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的として、あらゆるライフステージにおいて、継続して歯科保健への意識を高める。家庭での口腔管理（セルフケア）が実施できるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
幼児歯科健康診査対象者数	人	3,765	3,809	3,644	3,700	3,700

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	幼児歯科健康診査受診者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
	実績値	1,969	1,987	2,017				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	目標に達している。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]			0	0
（事業費）	[円]				
（職員人件費）	[円]			0	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
<ul style="list-style-type: none"> 幼児歯科健康診査は、受診者数が増加している。引き続き歯科保健への意識向上を図る。 成人歯科健康診査においては、30歳、40歳、50歳の受診率が低く、働く世代の受診率向上が課題である。 			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
「歯と口の健康」を守るために、歯科医師・歯科衛生士による出前講座を事業所で実施する。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健医療政策課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-3805
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	骨髄等移植ドナー支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	骨髄移植・末梢血幹細胞提供者の増加、及び骨髄等移植の推進を図ることを目的として、骨髄移植のための骨髄等の提供に要した費用の一部に相当する額を助成する。				
	2年度（市内に事務所を有する事業所に限る。） ドナーへの助成及びドナーの勤務している事業所への助成				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	20歳～55歳の市民
意図（どのような状態にしたいか）	骨髄等を提供する者の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
ドナーへの助成件数	件	1	6	5	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値 実績値				

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値 実績値				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	909	1,556	1,359	1,659
（事業費）	[円]	150	800	600	900
（職員人件費）	[円]	759	756	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） ドナーへの助成5件とドナーの勤務している事業所への助成2件を行った。平成30年度から、県の補助金交付事業が開始され、市の負担が軽減された。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後とも、助成制度についての周知及びドナーの登録についての啓発に努め、登録者の増加を図る。			